

令和4年中における市内の火災及び救急の概要について

令和4年中における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 火災の概要について

火災件数は166件(前年比35件増)、死者は3人(前年比1人減)で、負傷者は34人(前年比15人増)です。

火災原因等の詳細は、別紙1のとおりです。

2 救急の概要について

救急出場件数は42,060件(前年比6,213件増)、搬送人員は、34,826人(前年比3,797人増)で、ともに増加し過去最多を更新しました。

事故種別ごとの件数等の詳細は、別紙2のとおりです。

問い合わせ先

消防局 消防部予防課(火災関係)

042-751-9117

警防部救急課(救急関係)

042-751-9142

令和4年中における火災の概要(速報値)

市内で166件の火災が発生しました。
火災による死者は3人で負傷者は34人でした。

1 火災の発生状況

(1) 火災件数は前年と比べ35件増加

令和4年中の火災件数は166件、前年と比べ35件増加しています。

火災種別ごとに見ると、前年と比べ建物火災は93件で22件増加、林野火災は4件で4件増加、車両火災は20件で7件増加、その他の火災は49件で2件増加となりました。

(2) 出火原因の第1位は「たばこ」、続いて「放火(疑い含む.)」、「電気機器」

全火災の出火原因順位としては、「たばこ」の31件(18.7%)が最も多く、「放火(疑い含む.)」27件(16.3%)、「電気機器」14件(8.4%)、「配線器具」及び「こんろ」8件(4.8%)と続いています。

(3) 火災による死者は3人、前年と比べ1人減少

火災による死者は3人、前年と比べ1人減少しています。

火災種別ごとに見ると、建物、その他の火災により亡くなりました。

負傷者は34人、前年と比べ15人増加しています。

(4) 建物焼損棟数、焼損面積は前年と比べ増加、損害額は減少

焼損棟数は121棟、前年と比べ8棟増加しています。

建物の焼損面積は1,895㎡、前年と比べ104㎡増加しています。

損害額は8,861万5千円となっており、前年と比べ1億3,975万1千円減少しています。

2 火災概要

項 目		令和4年	令和3年	増 減	
合 計 (件数)		166	131	35	
火災種別	建物	件 数	93	71	22
		面積(m ²)	1,895	1,791	104
	林野	件 数	4	0	4
		面積(a)	17	0	17
	車 両		20	13	7
	船 舶		0	0	0
	航 空 機		0	0	0
	その他	件 数	49	47	2
面積(m ²)		11,796	3,601	8,195	
原因別	失 火(構成比)		130 (78.3%)	94 (71.8%)	36
	放火(疑い含む。)(構成比)		27 (16.3%)	29 (22.1%)	△2
	不 明(構成比)		9 (5.4%)	8 (6.1%)	1
焼 損 棟 数		121	113	8	
り 災 世 帯		102	94	8	
り 災 人 員		202	191	11	
死 者		3	4	△1	
負 傷 者		34	19	15	
損 害 額 (千円)		88,615	228,366	△139,751	

* 構成比については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理(四捨五入)のため、構成比の合計は100%にならない場合がある。

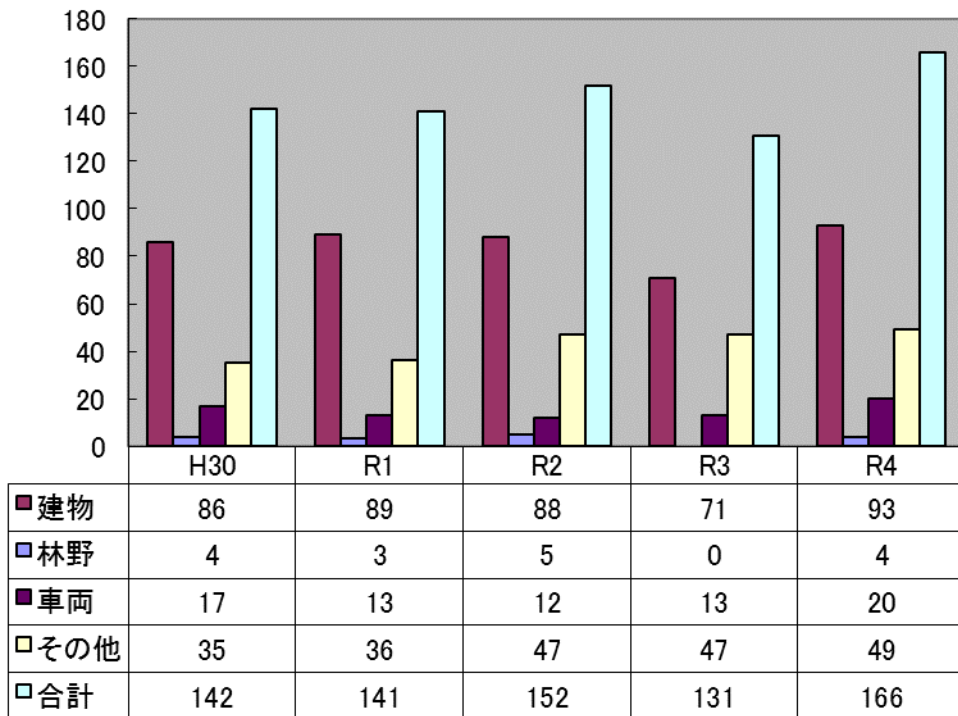
3 出火原因(前年比)

令 和 4 年 166 件			令 和 3 年 131 件		
順位	出 火 原 因	件 数	順位	出 火 原 因	件 数
1	た ば こ	31 (18.7%)	1	放火(疑い含む。)	29 (22.1%)
2	放火(疑い含む。)	27 (16.3%)	2	た ば こ	13 (9.9%)
3	電 気 機 器	14 (8.4%)	3	こ ん ろ	9 (6.9%)
4	こ ん ろ	8 (4.8%)	4	電 気 機 器	7 (5.3%)
4	配 線 器 具	8 (4.8%)	4	電灯・電話等の配線	7 (5.3%)
上位5位の合計		88 (53.0%)	上位5位の合計		65 (49.6%)

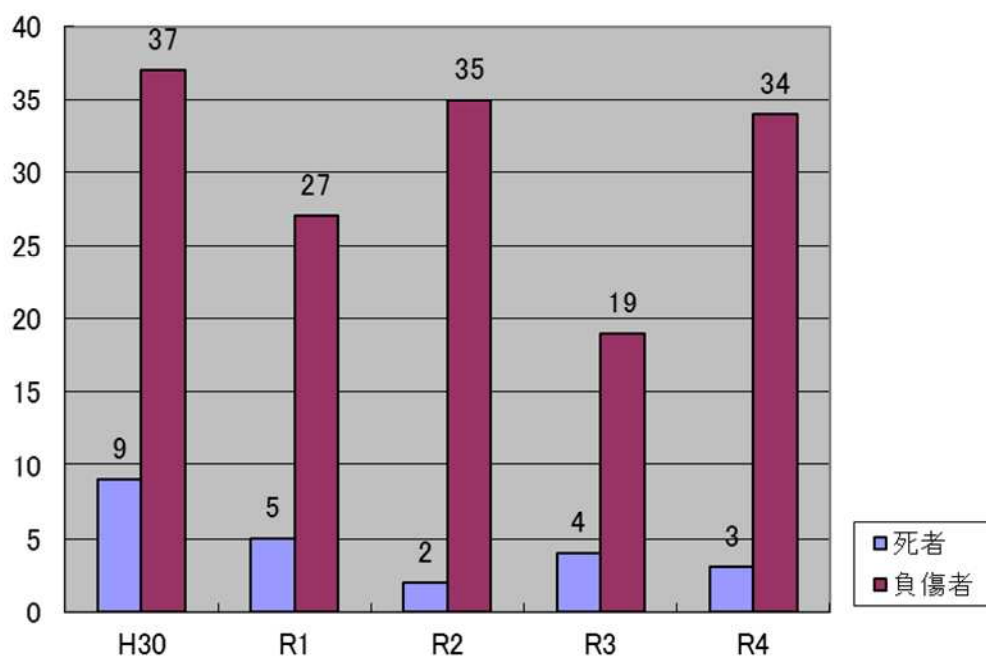
* 構成比については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理(四捨五入)のため、構成比の合計は100%にならない場合がある。

(件) 過去5年間の火災件数



(人) 過去5年間の火災に伴う死傷者数



令和4年中における救急の概要(速報値)

救急出場件数は42,060件、搬送人員は34,826人で、ともに過去最多を更新しました。

1 救急業務の実施状況

(1) 救急出場件数は前年と比べ6,213件増加し過去最多を更新

令和4年の救急出場件数は42,060件、搬送人員は34,826人で、前年と比べ救急出場件数は6,213件、搬送人員は3,797人増加し、過去最多となりました。

(2) 救急出場の事故種別の第1位は「急病」、続いて「一般負傷」、「転院搬送」

救急出場の事故種別順位としては、「急病」の28,868件(68.6%)が最も多く、「一般負傷」5,661件(13.5%)、「転院搬送」2,716件(6.5%)、「交通事故」2,343件(5.6%)と続いています。

(3) 軽症者の搬送割合は前年と比べ5.3ポイント増

軽症者の搬送人員は、17,714人(前年比3,566人増)で、全体の搬送人員の50.9%(前年比5.3ポイント増)となっています。

(4) 65歳以上の高齢者の搬送割合は前年と比べ1.0ポイント増

65歳以上の高齢者の搬送人員は、19,971人(前年比2,514人増)で、全体の搬送人員の57.3%(前年比1.0ポイント増)となっています。

2 救急概要

事故種別 区分		令和4年 (A)	令和3年 (B)	増減(C) (A-B)	増減率 (C/B×100)	
救急出場件数		42,060	35,847	6,213	17.3%	
傷病者搬送件数		34,670	30,831	3,839	12.5%	
不搬送件数		7,390	5,016	2,374	47.3%	
事故種別 内訳	火災	132 (0.3%)	92 (0.3%)	40	43.5%	
	自然災害	0 (0.0%)	1 (0.0%)	△1	△100.0%	
	水難	11 (0.0%)	8 (0.0%)	3	37.5%	
	交通	2,343 (5.6%)	2,437 (6.8%)	△94	△3.9%	
	労働災害	285 (0.7%)	242 (0.7%)	43	17.8%	
	運動競技	215 (0.5%)	179 (0.5%)	36	20.1%	
	一般負傷	5,661 (13.5%)	4,897 (13.7%)	764	15.6%	
	加害	150 (0.4%)	143 (0.4%)	7	4.9%	
	自損行為	457 (1.1%)	386 (1.1%)	71	18.4%	
	急病	28,868 (68.6%)	23,628 (65.9%)	5,240	22.2%	
	その他	転院搬送	2,716 (6.5%)	2,704 (7.5%)	12	0.4%
		医師搬送	23 (0.1%)	8 (0.0%)	15	187.5%
資材搬送		1 (0.0%)	3 (0.0%)	△2	△66.7%	
その他		1,198 (2.8%)	1,119 (3.1%)	79	7.1%	
搬送人員		34,826	31,029	3,797	12.2%	
性別	男性	18,293	16,337	1,956	12.0%	
	女性	16,533	14,692	1,841	12.5%	
程度別	死亡	275 (0.8%)	269 (0.9%)	6	2.2%	
	重症	2,895 (8.3%)	2,610 (8.4%)	285	10.9%	
	中等症	13,941 (40.0%)	13,998 (45.1%)	△57	△0.4%	
	軽症	17,714 (50.9%)	14,148 (45.6%)	3,566	25.2%	
	その他	1 (0.0%)	4 (0.0%)	△3	△75.0	

* 事故種別内訳の括弧内は救急出場件数における構成比

* 程度別の括弧内は搬送人員における構成比

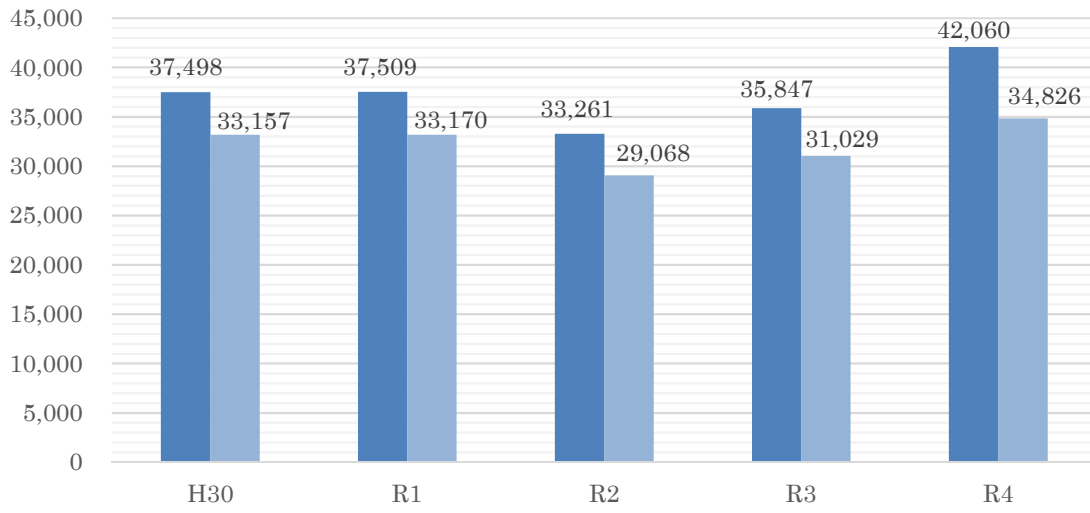
* 増減率と割合については小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、構成比の合計は100%にならない場合がある。

過去5年間の救急出場件数及び搬送人員の推移

(件・人)

■ 救急出場件数 ■ 搬送人員数



3 救急隊別活動状況

隊別		令和4年		令和3年		対前年比	
		出場件数	構成比	出場件数	構成比	比較増減	増減率
相模原署	本署1	3,366	8.0%	3,159	8.8%	207	6.6%
	本署2	3,205	7.6%	2,363	6.6%	842	35.6%
	田名	1,908	4.5%	1,537	4.3%	371	24.1%
	淵野辺	2,957	7.0%	2,678	7.5%	279	10.4%
	緑が丘	2,842	6.8%	2,368	6.6%	474	20.0%
	上溝	2,499	5.9%	2,047	5.7%	452	22.1%
南署	本署	3,326	7.9%	3,034	8.5%	292	9.6%
	本署2	774	1.8%	665	1.9%	109	16.4%
	新磯	1,558	3.7%	1,254	3.5%	304	24.2%
	大沼	2,755	6.6%	2,560	7.1%	195	7.6%
	相武台	2,833	6.7%	2,351	6.6%	482	20.5%
	上鶴間	2,671	6.4%	2,366	6.6%	305	12.9%
北署	本署	2,411	5.7%	2,095	5.8%	316	15.1%
	大沢	1,916	4.6%	1,428	4.0%	488	34.2%
	相原	2,145	5.1%	1,884	5.3%	261	13.9%
	城山	1,897	4.5%	1,553	4.3%	344	22.2%
津久井署	本署	1,016	2.4%	861	2.4%	155	18.0%
	派出所	1,137	2.7%	938	2.6%	199	21.2%
	藤野	589	1.4%	525	1.5%	64	12.2%
	青根	255	0.6%	181	0.5%	74	40.9%
計		42,060	100.0%	35,847	100.0%	6,213	17.3%
1隊当たりの件数		2,103		1,792		311	17.4%

* 構成比と増減率については小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理(四捨五入)のため、構成比の合計は100%にならない場合がある。

* 令和3年4月1日から相模原本署2を日勤救急隊から救急隊(24時間運用)に変更

* 令和2年4月2日から南消防署で日勤救急隊(本署2)の運用を開始

4 事故種別搬送人員状況

事故種別 順位		令和4年		令和3年		対前年比	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1	急病	24,064	69.1%	20,697	66.7%	3,367	16.3%
2	一般負傷	4,955	14.2%	4,370	14.1%	585	13.4%
3	転院搬送	2,701	7.8%	2,697	8.7%	4	0.1%
4	交通	2,151	6.2%	2,313	7.5%	△162	△7.0%
5	自損行為	326	0.9%	262	0.8%	64	24.4%
6	労働災害	278	0.8%	237	0.8%	41	17.3%
7	運動競技	203	0.6%	177	0.6%	26	14.7%
8	加害	107	0.3%	117	0.4%	△10	△8.5%
9	火災	33	0.1%	18	0.1%	15	83.3%
10	その他	4	0.0%	137	0.4%	△133	△97.1%
11	水難	4	0.0%	3	0.0%	1	33.3%
12	自然災害	0	0.0%	1	0.0%	△1	△100.0%
計		34,826	100.0%	31,029	100.0%	3,797	12.2%

* 構成比と増減率については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理(四捨五入)のため、構成比の合計は100%にならない場合がある。

5 年齢別搬送人員

年齢区分	令和4年		令和3年		対前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
新生児	110	0.3%	110	0.4%	0	0.0%
乳幼児	1,948	5.6%	1,313	4.2%	635	48.4%
少年	1,222	3.5%	1,030	3.3%	192	18.6%
成人	11,575	33.2%	11,119	35.8%	456	4.1%
高齢者(65歳以上)	19,971	57.3%	17,457	56.3%	2,514	14.4%
計	34,826	100.0%	31,029	100.0%	3,797	12.2%

* 構成比と増減率については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理(四捨五入)のため、構成比の合計は100%にならない場合がある。